八月二十三日　夕刊

日刊 但し月曜祭日翌日休刊
定價 一ケ月 二十五錢 一部二錢
郵税 十五錢
廣告料 場所指定 一行四十錢 二十錢增
發行兼編輯印刷人 半谷政喜
發行所 福島縣平市大町二十三番地 新いわき新聞社

支那單語

色を顔色で唱ひてイエンソ、靑は藍でラン、黄は同一文字でホアン赤は紅でホン、白は同じく白の字でバイ、黑を黑で云ふ場合はヘイ靑で云ふときはチン、茶色の事はチアソー、

中央に買込まれる 産地高の木炭拂底

放置せば由々しき社會問題 各戸の炊事にさへ不自由

平地方各戸の炊事にも脅威を與へてゐる日頃の木炭飢饉は益々深刻で最近では取引商人への罵聲をさへ投げつけられるに至つたが木炭檢査所に於ける検査高では昨年に比し幾分の增産で生産は減じてゐないに拘はらず品薄の原因は中央商人に買ひ込まれる産地高のためで何れにしても拂底の現況は夏季であるから未だしも之れが冬季であると由々しき社會問題をさへ惹起するであらう懸念があり現に窮餘の結果平市役所員並び同廳舍内各關係一同で一千俵の共同購入を平營林署に申込んだところ同署にも品不足で僅かに二百俵より買付られず更に富岡植田兩營林署へ申込中であつて從來汽車積みのみで地方賣をしなかつた營林署も地方民の窮狀に出來るだけ便宜を圖るが捗々しからず斯る極端な品薄のも一つの原因は木炭自動車が從來の家庭用のものを碎いて使用しつゝある影響も多く需給關係に著い不均衡を來たしたもので今にして善後策を立てねばなるまいと云はれてゐる

事變國債の好消化 第一日に半分以上

平局割當二万三千圓に對し 賣れた一萬二千三百圓

昨廿一日から賣出を開始した支那事變國債、平局の成績は割當て額

千圓券一五枚（一萬五千圓）五百圓七枚（三千五百圓）百圓二〇枚（二千圓）五十圓一〇枚（五百圓）二十五圓五枚（百二十五圓）二十圓三五枚（七百圓）十圓一五〇枚（千五百圓）

額面總額二萬三千三百二十五圓で割引の十圓券は七圓、二十圓券は十四圓賣りに對し第一日の窓口と豫約を合せ百圓券三枚（三百圓）五百圓券二枚（千圓）千圓券一一枚（一萬一千圓）十圓券七枚（七十圓）合計一萬二千三百七十錢を消化し殘る一萬九百五十五圓の中第二日の今二十二日は午前に於て五百餘圓の窓口賣があり來九月一日までの賣出し期間内には確實に消化なし得る見込みである

今朝の地震

震源地は請戸沖

今二十二日午前九時過ぎの地震は平地方を相當に驚かし震動時間が比較的長かつたので屋外に飛び出したものもあつたが無被害ですんだ同地震は發震午前九時六分三十秒、震動は輕震、震源地は（小名濱測候所位置北東百キロ）双葉郡請戸沖で海岸方部にも無被害である（小名濱測候所談）

舊盆に影響の貨物 上旬は減、中旬は增

平驛に於ける兩國の荷動き 旱魃被害で野菜は閑散

平驛に於ける八月の貨物成績上旬の發着荷並びに收入は

發送一〇七六噸（一二七七）
到着六三四一噸（三五三三）
收入四一四八圓（四四一九）
括弧内は前年同期

で昨年に比し着荷は殖えてゐるが發送を減少し二百七十一圓の收入減を見た主なる原因は石炭輸送の貸切が少ないためで尙ほ前年は舊盆入りが上旬であつた關係もあり中旬成績に於ては

發送一三五八噸（一一二八）
到着四〇一八噸（三〇〇四）
收入四六六〇圓（三四五八）
括弧内前年同期

を上げ廿一日の舊盆入りを控いて昨年より千二百二圓を增收してゐる目立つた荷量の增加は砂糖であつて菓子類にも若干增を示し例年同期（盆）に動いた野菜類は旱魃被害で發送殆んど皆無の閑散である

七夕祭のことども

(3)　滿壽莊

又齊諧記と云ふ支那の怪談を集めた本には、天河の東に機女あり天帝の子也機織に勞役して容を理むるに遑あらず天帝其獨居を憐み將に嫁年になりて河西の牽牛を夫に與ふ嫁して後終に女工を廢す天帝怒り責めて河東に歸らしめ唯一年に一會せしむ。

謂ふ意は天の河の東岸にはたをり姫が居つた、それは天帝の娘であつて朝夕なりもふりも構はず機織に熱中してそして天帝の衣裳を作ることに精進して居た天帝が娘の獨り居を可愛想に思ひ將に嫁すべき年頃になつて居たので河の西岸の牽牛星の處がはたをり姫を牽牛の傍にばかり引つゝいて居て更に織つむぎをしない、天帝の衣裳の調度にも事缺く樣になつた、そこで天帝がお怒りになつて牽牛の許から引はなし再び元の東岸へ歸らしめて只一年に一回逢ふ事を許し給ふた、それは七月七日の夜であると云ふのであります

◎日本の傳說の方は菊原章長の著（朗詠集）に淡海志の記事を引いてから云ふことが書いてあります。

昔余吾の湖（近江の琵琶湖の一部に天人下り水浴びをして居る中に杉の枝にかけて置いた羽衣を漁師に取られ取かへすすべなく心ならずも漁師の妻となり年月を經て漸く羽衣を取返し天に上りました（謠曲羽衣の傳說と似て居る）が一旦人間界に交りした味ひを忘れ兼再び天より下り夫の漁師を誘ひ連れて又々天上に歸りました、夫れで女は機女となり夫は牽牛となりました其再び天に上る時雲間より梶の木の上に糸を下し此糸に取付いて天上したので二星を祭る手向けに梶の葉を用ひ願の糸とて五色の糸を用ゆるなり云々

【註】梶はかふぞ即ち梶の樹で紙を作り又布を織る一名ゆふたすき

戀さまざま願の糸も白きより　蕪村

俵米共販漸騰

昨廿一日の出荷四四五俵 最高十四圓九十八錢

平農業倉庫に於ける昨二十一日の石城販聯俵米共同販賣は出廻り四百四十五俵で十九名の競爭入札の結果左記相場で全部取引されたが前回（十一日）の共販米が殆ど大部分入山採炭に落札した手持薄の商人側に買氣强かつた關係で今回は全部商人に引取られた爲め前回に比して通じて一俵に付き二十錢高を示した

▲草野倉庫六一俵（十四圓八十一錢）大野倉庫一八七俵（十四圓九十一錢）神谷五六俵（十四圓九十五錢）飯野二二俵（十四圓九十八錢）勿來五八俵（十四圓七十六錢）高久六一俵（十四圓八十二錢）計四四五俵（以上）

小寺画伯の力作展覽會

玉川小瀧鑛泉で

我が國洋畫壇の元老小寺健吉畫伯は石城地方同好者の請ひにより來る二十七日來郡玉川村小瀧鑛泉旅館に約一週間滯在の豫定をもつて揮毫頒布會を催されるが尙ほ同畫伯の作品展を開き力作多數を同旅館に陳し一般の觀賞に供される筈で來場を歡迎すると

奉公會へ寄附

平市鍛冶町熊谷榮一君は今回の應召に即日歸郷したので金五圓を市の銃後奉公會（前の軍事後援會）へ寄附した

戰地の便り

郷土の香高き 感激の慰問品

石城郡神谷村出身　鈴木榮一郎

拜復、時下三伏の候と相成り候處益々御健勝にて銃後の御活動に御專念の御事と拜察仕り邦家の爲め慶賀この事に奉存候、陳者此の度は小生妹ちゑ子儀御膝下にて御指導賜はる事に相成り候處皆々樣御一同より御鄭重なる御慰問文ならびに眞心こめたる郷里の情味あふるゝばかりの慰問の品々を御惠送いたゞき重ね〳〵の御厚情まことに感激の極みに存じ奉り候、應召以來最早一ケ年も近く相成り申候得共その間多忙に多忙を重ね遂々思ひながらにして御無音申し上げ候段恐縮に存じ奉り候、本日出張中の宿舍より機會を得て御詫びかた〲昨年來の狀況申し上げたく一筆呈上仕り候事件の經過は申上るまでもなく平穩に復し同時に〇員も〇員も解かれて平時勤務と相成り候へしは九月三十日にて候、再來〇隊付として勤務この間例の〇長々大佐の下に猛烈なる將校教育が實施せられ戰術、劍術、馬術（乘馬本分）は勿論新典令の講義等々第一期の教育は全部准尉と〇隊長に委せ將校は徹底的に鍛はれ申候、此の間、晝間は二、三年兵の實兵指揮、步砲連合演習耐寒演習と種々の訓練と經驗を得て猛進仕り居り候、

蜆採で國防献金

石城郡磐崎村の尋高校高一生六十名は小松隆先生の指導で健康增進の水浴ながら蜆採りで得たる金四圓六十錢を國防献金する

小麥と家畜の增産計畫協議

二十九日平市で

縣では來る二十九日午前九時から平市郡聯休事務所に平市及び石城郡下の農業關係者を招集し小麥並びに家畜の增産計畫につき方針を上げて指導協議をなす

少女生花賣献金

石城郡湯本町小學校の尋六生齊藤きよ、絲川ろくさん二名は花賣りをして得たる利益一圓二十錢を國防費に献金

鮫川堰組合の蘇生水路視察

來三十一日

石城郡鮫川堰水利組合では來る三十一日組合議員一同で蘇生水路の全線を視察し翌一日は臨時委員會を開き六日臨時總會を開催の豫定である

御誂も既製品も
（高）髙島屋洋服店
平二電三八六

事務家諸兄に
ムッソリーニペン を奬む
國産品に斯んなよいペンがあるのは喜ばしいことです、錆びない、書きよい、耐ちよい、三拍子揃つたペンです、
ムッソリーニペン特約店
（文）魁文堂
電話313番

魚膠と食用沃度

吉切鮫の皮

（下）

東北振興皮革會社の花形新製品

この純粋ゼラチンは工業用藥劑として多角的な効用をもつのであるが尚ほしぼり糟は肥料に使へる、

ヨードツクスは食用沃度のことであるのだがこれは海草の「かじめ」からつくるものであつて現在一ケ月の生産量は約三十噸であるがこの一噸に要する生産價格は百八十圓である、

ヨードツクスは有機性活性沃度化合物なので、食料として多大の榮養價をもつてゐるものであつて製造の工程は「かじめ」草を鹽水にひたして脫砂し（砂を除くこと）たる後に陽光でもつて乾燥したものを切斷なしさらにそれを六十度の乾燥室に入れて乾燥したが上で細斷機にかけて細かに分碎すると粉末用のヨードツクスが得られる、

かやうにしたる工程を經て出來たところのヨードツクスは味噌汁にもなり食パンにもなり昆布茶の代用品にもなるばかりでなく、味噌、醬油、菓子などの製造に際してこれを混入すると沃度、燐酸、石灰鐵分を含有するため殺菌藥劑中和等の無機質補給源としても極めて優良であつてその上美味を增させる特質をも有してゐる等々東北振興皮革株式會社の國策に乘り出したる所謂の多角的な製造は新製品として多方面から重寶がられてゐる（完り）

スペインGHN元詰

ゴルフポートワイン

酒石酸甘味

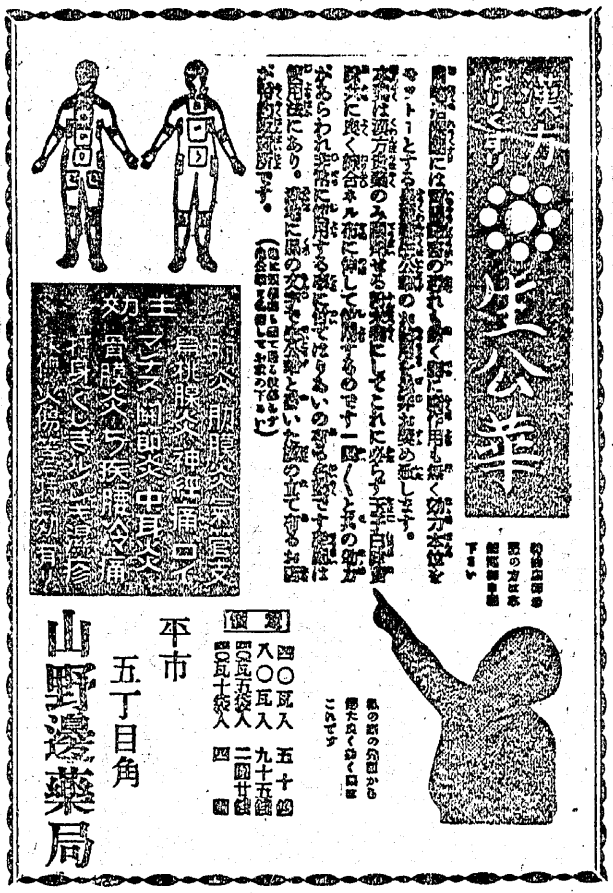
御婦人の方には少し水を加へて
召し上ると風味一そう佳良です

（電三）西村屋藥舗　（二平）

内科、小兒科
大森醫院
入院應需
醫學士　大森　勇
平市南町　電二五八番

内科、小兒科
外科、花柳病科
耳鼻咽喉科
レントゲン科
高久病院
平市田町　電話五一三番
院長　醫學士　高久忠

お醬油は……ヤマフル
醬油、味噌、たひら正宗
鰹節食料品
明治生命磐城代理店
塩屋　山崎合名會社
電話　營業部　一〇番
本店　二七番
山崎與三郎



債券、公債
兩替、金融
多田井質店
平市大工町　電話五九一番

根本産婦人科醫院
平市南町
根本莊次郎
根本貞雄
電話三四番
（入院隨時）

專門
皮膚科
泌尿器科
性病科
診療時間　午前八時より午後九時まで
江尻醫院
醫學博士　江尻伊三郎
平市田町　電話六九一番

今般、醫學士土井利明氏を副院長として招聘し內科、小兒科の診療に從事せしむ、
平病院
（平市元共濟病院跡）
電話六四一番
院主　醫學博士　鈴木定藏
內科　小兒科　院長　鈴木定藏
內臟外科　一般外科　皮膚泌尿器科　副院長　土井利明
レントゲン科　物理的療法科　副院長　高橋俊幸
藥劑科　部長　吉本孝平
診療時間……每日午前八時より午後九時まで夜間診療に從事す（急患は此の限りにあらず）

涼味そゝる
夏物洋品愈々進出
スマートなカンカン帽子
可愛らしい…お子様帽子
婦人・子供清涼着
その他　色々陳列
つるや
平電　四140

産科婦人科　院長　木村寅次郎
外科　醫學博士　內木宗八
藥局　藥劑師　大岩俊雄
入院隨意
病室完備
木村病院
平市新川町九一　電話一六四番

一般印物もお引受致します
新いわき新聞社